

目 次

1. はじめに	1
2. 債券市場とマーケットのミクロ構造	3
2.1. 金利規制緩和	3
2.2. 増加する社内資源	4
2.3. 債券市場の規模	5
2.4. 監督者	7
2.5. 債券発行者	7
2.5.1. 政府	7
2.5.2. 民間企業部門	8
2.6. 各種証券	10
2.7. 取引、決済、および清算	12
2.7.1. 公債	12
2.7.2. 社債	12
2.7.3. 清算と決済システム	13
3. 債券市場の改革	14
3.1. 公債市場	14
3.1.1. 源泉徴収の免除	14
3.1.2. 入札制度の導入	14
3.1.3. 財政赤字の RBI 引受けの停止	14
3.1.4. 公債評価価格/会計標準による銀行の投資	14
3.1.5. プライマリーディーラー・システムの導入	15
3.1.6. 既発債券の統合	15
3.1.7. 価格設定のためのゼロクーポンカーブ	15
3.1.8. 公債への一般投資家の関心	16
3.1.9. 取引、清算、および決済	16
3.1.10. 規制の問題	17
3.2. 社債市場	18
4. 債券市場の発展における諸問題	19
4.1. インドの公債市場に関する問題	19
4.2. インドの社債市場に関する諸問題	21
4.2.1. 民間企業：銀行融資と債券による調達	21

4.2.2.	リスク管理	21
4.2.3.	税の源泉徴収 (TDS)	21
4.2.4.	印紙税	21
4.2.5.	小口化	23
4.2.6.	情報	23
4.2.7.	市場慣行	24
4.2.8.	マーケットメーカー	24
4.2.9.	狭い投資家ベース	24
4.2.10.	社債におけるレポ取引	25
4.2.11.	取引、清算、および決済機能	25
4.2.12.	証券化	26
5.	債券市場の将来	27
5.1.	債券市場の発展につながる役目	27
5.1.1.	債券を通じたインフラ融資	27
5.1.2.	証券化	27
5.1.3.	年金基金と新しい年金規則	28
5.2.	今後何になされるべきか?	29
5.2.1.	投資家層の拡大	29
5.2.2.	発行者基盤の拡大	29
5.2.3.	デリバティブ市場の発展	30
5.2.4.	マーケットメイキング	30
5.2.5.	価格の歪みへの対応	30
5.2.6.	上場基準の緩和	30
5.2.7.	取引報告システムの開発	31
5.2.8.	取引、清算、および決済機能	31
5.2.9.	インフラ融資に特化した債券ファンド	31
5.2.10.	債券証券化市場の発展	31
A.	インドにおける証券化	32
A.1.	インドにおける現状のシナリオ	32
A.2.	インド証券市場が直面している問題	33
A.3.	最近の発展	35
A.4.	結論	37
B.	インドの退職金スキームと年金基金	38
C.	主要な債券市場での展開	43